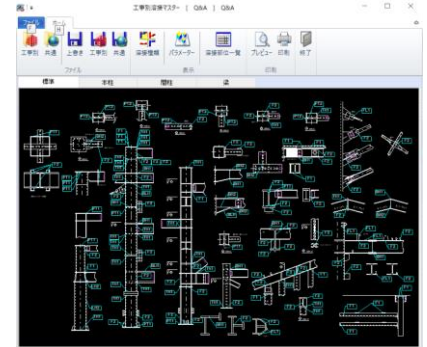
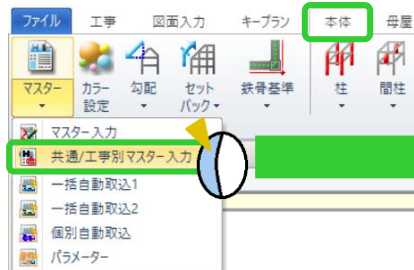


# コアなどの溶接部位のみルートギャップを6mmに変更したい！① 溶接マスターから設定できます

【本体】-【マスター】-【共通/工事別マスター入力】を開き、【溶接】をクリックして溶接マスターを起動します。

※SF システムメニューからも開くことができます。



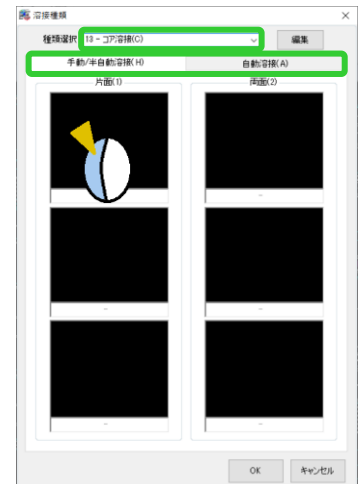
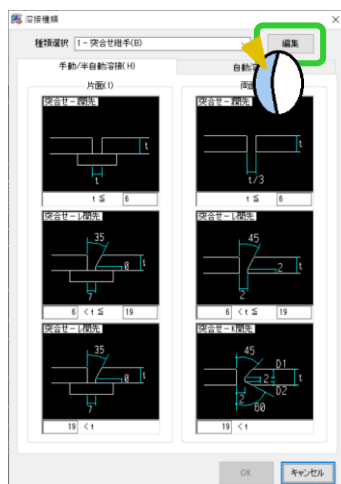
【溶接種類】をクリックします。



【編集】をクリックします。

【追加】をクリックし、追加された行に溶接の名前と記号を入力してから、【OK】をクリックします。

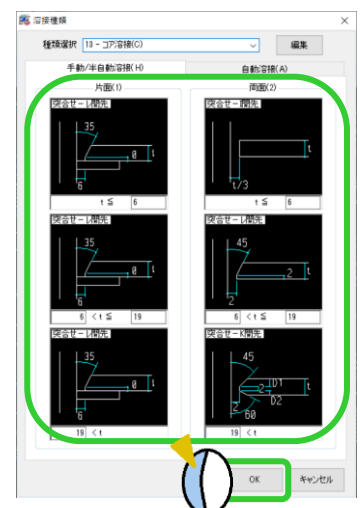
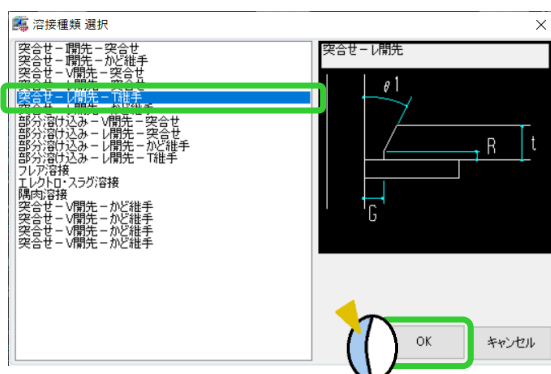
溶接種類の画面では、種類選択より編集で追加した溶接種類を選択、手動/半自動溶接、自動溶接のいずれかを選択し、片面または両面の1段目の黒色の画面をクリックします。



溶接種類を選択し、【OK】をクリックします。

ルートギャップ 6mm・開先角度などを入力し、【OK】をクリックします。

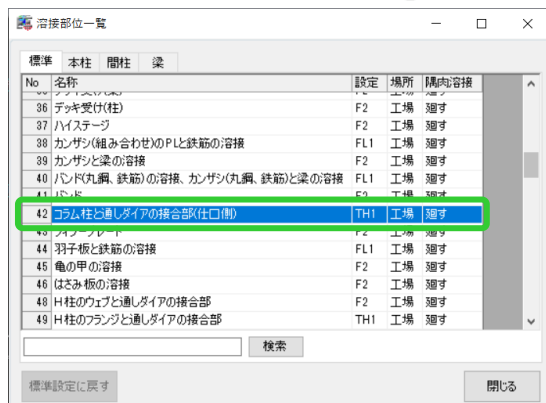
板厚により溶接が異なる場合は、板厚範囲と2・3 段目を設定し、【OK】をクリックします。



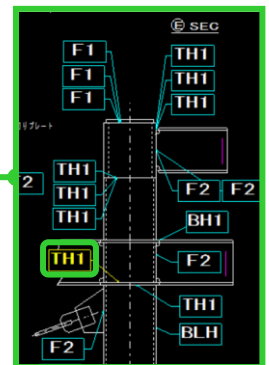
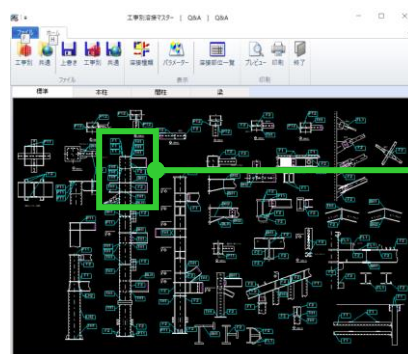
## コアなどの溶接部位のみルートギャップを6mmに変更したい！② 溶接マスターから設定できます

溶接マスターの画面で、【溶接部位一覧】をクリックします。

42) コラム柱と通しダイアの接合部(仕口側)をダブルクリックし、部位ごとの溶接方法指定を開きます。



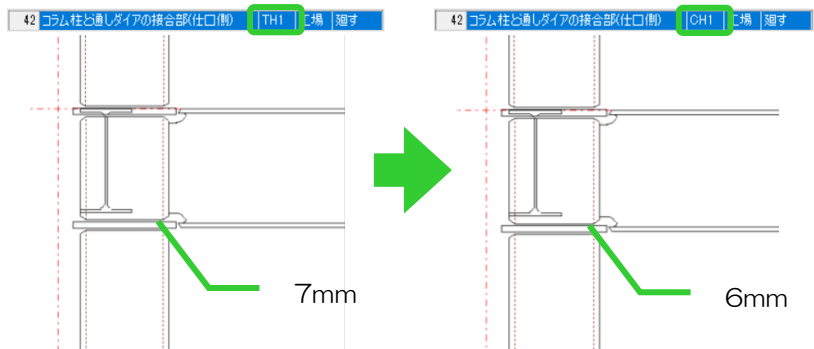
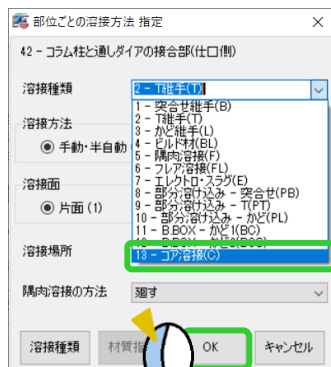
溶接図の溶接部位の記号をクリックして編集することもできます。



作成した溶接種類に変更し、【OK】をクリック、溶接部位一覧を閉じます。

変更した内容は、工事別溶接マスターに保存してください。ルートギャップが変更されます。

今後の工事でも同様の溶接にしたい場合は共通溶接マスターにも保存してください。



溶接種類を追加せず直接 TH1 などの溶接設定の変更を行った場合、同じ溶接種類(TH1)を設定している全ての溶接部位に対して設定内容が反映されます。



溶接部位一覧では、文字検索で溶接部位を探すことができます。

